



題字は 県漁連三浦会長

5 月号  
No. 104

発行所  
兵庫県漁業協同組合連合会  
神戸市兵庫区新在家町 123  
発行人 三浦清太  
TEL 63085  
編集 拓水編集委員会  
発行日 毎月 30日  
一部10円  
昭和32年10月18日  
第3種郵便物認可

# 水産試験場業務の

## 概要について

水産試験場長 井沢康夫

昭和四十年年度の試験研究業務の大要について、略記して業界の御批判と御協力を仰ぎたいと思ふ。  
農林部構造改善室では、「本県農林水産業の見通しと目標」を策定し、また正式発表にはなっていないが、昭和五十年までの目標を作った。それによると、漁業の目標は次のごとくである。

漁家戸数は基準年次(昭和三十八年)に比し、三十八年三二・四万円(三十八年)に比し、その六四・五〇〇戸、漁業年六五・五万円と五十年に比し、その倍増を見込んで、七八〇人と大巾に減少する。生産量はこれと反対に増大することを期待した。目標の達成に努力しようとする。資源の現状から増加を期待することは、無理であるので、基準年次に比して僅か約一〇%の伸びを期待したと認め、その生産所得は、高級魚の増加、養殖業の伸びをみて約三〇%の所得増をみてゐる。しかし、就業者が大巾に減少してゐるので、就業者一人当りの生産所得は、本水産試験場はこの目標を列記すると、

- 一、アサケサリ病予防の研究
- 二、ワカメ適種選定についての研究
- 三、コンブ養殖試験
- 四、タコ種苗生産に関する研究
- 五、魚類種苗生産研究(アイナメ)
- 六、クルマエビ生産養成の試験
- 七、ハマチ養魚餌料の研究
- 八、ハマチ養魚環境要素の研究
- 九、アワビ種苗生産の研究

(別表) 漁業生産構造

区分	基準年次(昭38)	目標年次		指数	
		昭45	昭50	45年/38年	50年/38年
1. 漁家戸数	8,337	9,289	5,000	75.4	60.0
2. 経営体数	6,439	4,826	4,215	74.9	65.5
3. 漁業就業人口	12,080	9,277	7,860	76.8	65.1
4. 海面漁業生産量	94,738	98,411	105,000	103.8	111.1
5. 生産額	6,339,400	7,553,300	8,668,000	119.1	136.7
6. 生産所得	3,914,326	4,551,423	5,148,100	116.3	131.5
7. 1漁業家当たり所得	1.45	1.48	1.57		
8. 1就業者当たり所得	0.324	0.491	0.655	151.5	202.1

- 一、アサケサリ病予防の研究
- 二、ワカメ適種選定についての研究
- 三、コンブ養殖試験
- 四、タコ種苗生産に関する研究
- 五、魚類種苗生産研究(アイナメ)
- 六、クルマエビ生産養成の試験
- 七、ハマチ養魚餌料の研究
- 八、ハマチ養魚環境要素の研究
- 九、アワビ種苗生産の研究

## 漁民団結の勝利!!

### 特定水域問題解決す!

友ヶ島水道の指定除外、播磨灘も撤廃される

### 海上航行安全審議会開かる

「海」これは漁民の唯一の職場である、この生活の場は誰にも侵奪されてはならないのである。特定水域

はく奪しようとする運輸当局の暴挙に抗議し、特定水域新設の阻止と現行水域の撤廃を叫んで来た。そしてこのことわれわれの必死の反抗が実を結び漁民の勝利に終わったのである。正に団結の勝利であり御同様に堪えない。この結果を述べ報告にかえたい。

## 二、特定水域航行令改正案 可決さる

「はく奪しようとする運輸当局の暴挙に抗議し、特定水域新設の阻止と現行水域の撤廃を叫んで来た。そしてこのことわれわれの必死の反抗が実を結び漁民の勝利に終わったのである。正に団結の勝利であり御同様に堪えない。この結果を述べ報告にかえたい。」  
当初予想のとおり三月二十二日、運輸大臣の諮問機関である海上航行安全審議会が運輸省において開かれた。これより先、本県の反対期成同盟は、このことを事前に探知し、反対運動の頂点をその日に向け行動を開始した。

## 三、漁民団結の勝利

現在の社会情勢の中で、沿岸部漁民の立場と漁民の組織力との程度効を奏するの場であったと思う。しかし、その結果は大資本の野望を粉砕し、見事な成果を挙げたのである。小資本の漁民の団結とその熱意がその実を結んだことをよく認識し、今後この問題に限らず、われわれ漁民は一致団結して本県漁業発展のため奮起しなければならない(県漁連事務局長)

## 政令改正案

政令第 号  
特定水域航行令の一部を改正する政令  
内閣は、海上衝突予防法(昭和二十八年法律第五十一号)第三十条第二項の規定に基づき、この政令を制定する。  
特定水域航行令(昭和二十八年政令第三百九十二号)の一部を次のように改正する。

年月日	経過概要
40.2.14	神戸市議会議員一行上京波状陳情
40.2.19	明石市議会議員一行上京陳情
40.2.20	津名郡北淡町議会で指定反対を議決
40.2.25	瀬戸内海連合会漁業調整委員会において指定反対の動議が提案され全会一致可決する。
40.3.9	海上航行安全審議会が3月22日開催される情報をキャッチし、反対期成同盟代表の緊急会議が開かれ、15日(明石水試)に全漁協招集、17日および22日上京陳情の方針を決める。また県農林常任委員長へ陳情する。(2頁へ続く)

研究の時間において検討する要ありとして継続審議となり、四月一日に再議されることになった。



思い出の記

メダカ大海を志す

風 来 漁 人

世の中が暗いものであり... 少年世界から中学世界と... 大町桂月君が青少年... 向きの論議を書いた...

組合長訪問

(4) 浜坂漁業協同組合



組合長 安 達 吉 造

海に愛着を!!

漁業に誇りを!!

浜坂漁業協同組合は昭和... 三十九年四月一日三尾漁協... 合併した。茲に一九九年を... 本組合は昭和三十五年九月... 整備組合第一号として負債... 二六、八七五千円を背おっ... て立上った。

自分の泊りついで... ぬ位置に立つたこと... ったのは、がまんのな... 親校の誇る秀才だと父... ちも自慢にしていたが... 分から見ると天したと... なくむろの私が一歩先... ていることは幾度も自... ているのは、幾度も自... だ。止め度ない涙が... 小説家になれ」と松本... 校長はいつも私をおだ... のイトコに当たる同年... が既に二年前中学に進... 意に燃えていたのだ。...



七日食った 鏡をこらん

吹きたりに集まる落... 葉のように関西各地... 二、三百人集まって... 義雄という尺度で考... 察していたのは多用... 閑遊とい目撃していた... 発表は三番と出た。上... ので僅かに慰められた... ベロベロの三回の服と... 鏡をこらん

力が占すべきではない... 過ぎ幾億年より続いた... 海は宝庫は今後も又... して、子供に継承しな... ばならない義務がある... この天然資源を如何に... して後代に遺すべきか... 漁民の責務である。...

Advertisement for Yanmar Diesel engines. Includes text: 'いつも漁場に一番のり マリンディーゼル', '早く漁場へ、早く市場へ ヤンマーディーゼル', and various engine models like 3MG2形25馬力, 6MG2形90馬力, etc.

